

【広島支部設立2周年記念・支部三理研修スタート】

広島支部設立2周年おめでとうございます。佐藤支部長をはじめとして、役員皆さんの努力により千葉、大阪、名古屋、九州に続く5か所目の拠点展開の要として継続し、この2周年を迎える今がある事に感謝申し上げます。政経倶楽部は、それぞれの経営者が、自身の事業の基盤の上の活動として、政経一体でこの国を良くしていくために、自身が学び、本物の政治家を育て、日本創生への具体的な活動を多くの人たちに伝え、行動する会です。今期は、当会の3つの基本理念1.「共生文明の創造」2.「高徳国家の建設」3.「公益経済の確立」を今一度腹に落とし、自身の会社の理念と重ね合わせるとともに、政経倶楽部の活動の意義とも重ね合わせ、深掘りすべく、当会主席顧問の林先生講師のもと理事、3役員中心に各支部ごとに「三理研修」を計画し、本部、大阪・名古屋支部で終了しました。12月には、九州-広島支部にて実施予定です。今後会員の皆様にも「三理」を学ぶ機会を広げてゆきたいと考えます。また、今期のテーマの一つであります、政経倶楽部として全国をカバーするべく仙台支部の立ち上げを準備し、今中心となる人物を探しています。

先般来日したフィリピンのドゥテルテ大統領は、その発言、行動、外交姿勢を見れば、大国の狭間で、生き抜いてゆかなくてはならない小国のトップリーダーのプライドを持ちながら、したたかさと、アメリカを中心とする世界秩序が変質し、アジアの時代に大きく変わって行くという大局観を持って行動していることを感じずにはおられません(まさに当会の学びである文明法則史学の大局面)。国民の生活、自国の安全保障が、リーダーのかき取り一つで大きく国の未来として変わる事を示唆してくれてはいませんか？ 当会の存在意義を本物にすべく皆さんとともに活動してゆきます。

広島支部設立2周年、おめでとうございます。発足からの道程「産む苦しみ」から「育てる苦しみ」へと変わる訳だが、広島支部も他支部の例に漏れず様々な困難を乗り越えて設立2周年の晴れ舞台を迎えられた事に深く感謝している。広島支部の今後に大いに期待したい。

また、同時に仙台支部の設立に思いを馳せた。ここでもう一度、なぜ仙台支部設立が必要なのかをお伝えしたい。政経倶楽部の使命である「日本創生」の実現のためには、全国主要都市への支部展開が必要であると考えている。主要都市からやがて日本全体に大きな波が生まれ、より多くの方にご賛同いただく機会が増えるからだ。

そして、今年はいよいよ「支部三理研修」がスタートした。昨年本部役員(東京支部・千葉県支部を含む)による三理研修を林先生にご講義頂き実施したが、原点を見つめ直し結果を深める大変意義深い機会となった。これを各支部役員対象に行い、まず我々内部の人間が「三つの基本理念」について徹底的に学び直す事で使命への理解を深めるのはもちろんの事、各支部運営や会社経営に如何にして三理を落とし込み実践するかが重要なのだ。



政経倶楽部連合会理事長
吉田 平



政経倶楽部連合会ファウンダー
寒竹 郁夫

「日本政経連合総研レポート」第9号 「政経倶楽部連合会の基本的活動」について

「政経倶楽部は何をする会なのか分からない」という声を、ときどき耳にする。そこで今回は、活動の「3つの柱」である「学ぶ」「伝える」「育てる」に照らして活動を要約してみた。支部運営などのご参考になれば幸いです。

【学ぶ】その1～講師を招いて例会を開く

日本と世界の現状を、時空両方から掘む。時間的には歴史的背景を、空間的には大局的に関係を把握する。そのために各界の優れた講師を招き、日本創生の具体的な方策を探究する。

【学ぶ】その2～三理研修を行う

「共生文明の創造」「高徳国家の建設」「公益経済の確立」の3つの基本理念は、21世紀の国是であり、これからの会社経営の根本精神ともなる。これを三理研修によってしっかり学び、リーダーの行動指針として生かそう。三理研修は政経倶楽部独自の学びである。

【伝える】啓蒙と提言に努める

例会で学んだ内容を元に、書籍・冊子・チラシ・SNSなどで社会に啓蒙・提言する。支部活動においてもフェイスブックなどを活用してPRに励み、積極的に新メンバーを募ろう。

【育てる】「1000人の坂本龍馬」構想を進める

「政治」が良くなれば、日本は必ず甦る。政経倶楽部は、政治家と経営者が互いの胸襟を開き、政経一体となって切磋琢磨する他に無い会である。志の高い松下政経塾出身者や、林塾・塾士などを応援し、志士政治家として育てていく。第三極への期待は、むしろこれから高まるものと予想する。日本改新を志す議員や首長を、積極的に例会講師に招こう。

※補足1 世界を大局的に掘むための「文明法則史学」が基盤にある

政経倶楽部の大局観の基盤には「文明法則史学」がある(寒竹ファウンダー談)。文明法則史学は、東西文明が800年周期で交代する事実を証明したマクロの歴史学だ。文明の交代を発見し、大系化されたのは文明評論家の村山節翁(1911～2002)。ヨーロッパの衰亡と民族大移動、アメリカの衰退、イスラム・パワーの興隆、中国の台頭など、今起こっている世界の流動化を予測してきたのが文明法則史学である。政経倶楽部の各地例会で、是非とも文明法則史学を「基礎学問」として学んで頂きたい。他の勉強会では得られない大局観を身に付けて頂けるだろう。

※補足2 日本の原点を理解するための「大和言葉」講座を開くことが出来る

日本と日本人について、より深く理解して頂く上で有効なのが「大和言葉」講座だ。名古屋支部では継続的に「大和言葉の世界観」講座が開かれており、三理を理解する助けになっている。吉田理事長も熱心に学習されており、経営者必修の学問と言えよう。大和言葉は、漢字が入ってくる前から日本列島で話されていた原日本語なり(訓読みが基本的に大和言葉)。アは開く、ウは閉じるというように、仮名(表音文字)→文字→文字の意味やイメージがあり、社名や商品名を創る際のヒントにもなる。



政経倶楽部連合会主席顧問
林 英臣



10月12日 メルパルク広島にて広島支部設立2周年記念例会が盛大に開催！



佐藤広島支部長挨拶～設立2周年までの道程と今後を熱く語って頂きました



林英臣先生の基調講演～広島支部発展に熱いエールを頂きました



広島支部新役員が勢揃い！参加者の皆様へ感謝をお伝えし閉会しました



同日開催の「支部長会議」風景～本部・全6支部が真剣に議論をしました



9月実施の「支部三理研修(大阪・名古屋)」風景～12時間の熱い研修会でした

【政経倶楽部連合会 全6支部 最新活動レポート】

＜東京支部＞

広島支部設立2周年おめでとうございます。今年5月には、米オバマ大統領の訪問、野球では広島東洋カープの25年ぶりセ・リーグ優勝と、広島には今年大きなパワーを感じます。私も猛暑の8月、講演と懇親会で、広島支部の皆様と熱き思いを共有させていただきました。

この熱き思いを、この秋先進する政経倶楽部女性部会につなげたいと思います。志高き女性の皆さま方、どうぞ11月30日(水)夜、素敵な会にお集まりください。女性力で、楽しみながら日本創生をめざしましょう。

東京支部例会は、通常、毎月第一木曜日朝に行っています。会場は国会に近く、国会議員にもご参加いただきやすく、今後も素晴らしい講師陣をお招きし、研鑽を重ねて参ります。

―― 谷口 郁子 東京支部長



H28・9月度東京支部例会(夜例会)



H28・10月度東京支部例会(朝食会)

＜千葉県支部＞

広島支部設立2周年おめでとうございます。政経倶楽部は全国に活動の輪を広げるべく、仙台支部の設立を目指しておりますが今年、広島支部が設立2周年を迎えられました。様々な課題を一つ一つじっくり解決しながら進んでこられたお姿を見て「継続する事の重要性」を今更ながら教えられました。

千葉県支部も全国各支部との連携を図りながら三理の実現に向けて努力してまいります。そして当支部は「地方創生」をテーマに掲げ、本年活動を続けてまいりました。その集大成として11月度千葉県支部例会は「株FUSAコーポレーション 諏訪社長」にご講演を頂きます。

2016年も残すところ約2か月、ご出席頂いた皆様のお役に立てる様、今後も活動してまいります。

―― 山本 克己 千葉県支部長



H28・9月度千葉県支部例会



H28・10月度千葉県支部例会

＜大阪支部＞

広島支部設立2周年、誠にありがとうございます。支部運営は会社経営と同じ問題山積ですが、その問題を解決していくことに楽しさ・おもしろさを感じます。大阪支部では月に一度の例会と、月に二度の幹事会を開催し、活発に支部運営を行っております。講師例会だけでなく、会員の研究発表の機会を設けることによりさらに学びを深めています。

今後大阪支部では、各部会の学びを深めるとともに、林英臣先生をはじめとする林塾塾士・本部推薦講師による講師例会も企画しております。今後は大本営移転予定地であった長野県松田の見学、南太平洋での遺骨収集も実施していく予定です。

また企画立案後には各支部へのお誘いもさせていただきますので、積極的にご参加いただければ幸いです。

―― 上能 喜久治 大阪支部長



H28・8月度大阪支部例会



H28・9月度大阪支部例会

＜名古屋支部＞

この度は、広島支部設立2周年誠にありがとうございます。私も経験がありますが、支部設立からの2年間は分からない事が多く一番苦労した時でした。広島支部様においても一緒だったと思います。その経験が3年目から必ず役に立ってまいります。これを機に幹部の皆様が佐藤支部長を中心にして支部の発展に邁進されることを御祈念申し上げます。

【名古屋支部2016年度活動の反省と今後の取り組み】

今年度を振り返って見ますと例会を中心に毎月の3役員、幹事会、そして地域部会活動等、なんとなく無難に取り組んで来たと言う感じがします。会員数も減少の傾向です。気の落ち込みがありました。三理研修を機に初心に帰りました。先ず、会員(一般会員)の増強に集中して力を注いでまいります。

―― 牧山 育美 名古屋支部長



H28・9月度名古屋支部例会



H28・10月度名古屋支部例会

＜広島支部＞

広島支部が設立されて2周年を迎えました。

会員の増強がままならないため、支部役員の数も少なく、例会の運営や事務処理に相変わらず苦労しております。

そうした中、例会以外の事業として、経営者を集めた勉強会を始めました。一人でも多くの会員を獲得するために、政経倶楽部のPRを含めて、毎月1回行っております。最初の3回はシリーズで、徳永会員が講師となり、SNSを活用したマーケティングについての話をしていただきました。

10月12日には、2周年記念例会を開催しました。支部長会議も開催されたこともあり、寒竹ファウンダー、吉田理事長をはじめ本部、各支部からも役員の方に参加いただきました。林英臣先生の心のこもった基調講演のもと、約50名の参加者が学び合い、交流を深めました。

―― 佐藤 克則 広島支部長



H28・10月度広島支部設立2周年例会



H28・10月度広島支部設立2周年例会

＜九州政経倶楽部＞

広島支部設立2周年、おめでとうございます。昨年の設立1周年記念に続き、今回も「設立2周年記念例会・懇親会」に参加させて頂きました。更にパワーアップされた広島支部に感動すると同時に九州政経倶楽部ももっと頑張らなくてはと決意を新たにすることが出来ました。

九州政経倶楽部は昨年5月から運営を再開し、準備も含め早くも1年半が経過致しました。現在も試行錯誤の日々ですが、着実に運営の応えを感じております。継続・積み重ねが何よりも大切であると今回の広島支部を見て再認識しております。

今年度は「初心に帰る事」を念頭に活動方針を協議した結果、当会首席顧問である林英臣先生に3回に渡るご講演(2月・5月・7月)を頂戴致しました。九州政経倶楽部としての使命とは何か？林先生の熱いご講演で再確認が出来ました。また、12月には待望の「支部三理研修」を広島支部と合同で行います。ここでしっかりと学び、見つめ直す事で大きく成長したいと思います。

―― 毛利 克彦 九州政経倶楽部支部長



H28・3月度九州政経倶楽部例会



H28・3月度九州政経倶楽部懇親会